香美市ちびっこマラソン・ピッタリ駅伝・リレーマラソン

【大会結果】

●ちびっこマラソンの部

種目	氏名	距離	タイム
低学年男子	山﨑 滉真くん	1.13ｋｍ	４分３１秒
低学年女子	田中 喜々さん	1.13ｋｍ	４分４１秒
高学年男子	大野 勇羽くん	1.82ｋｍ	６分５６秒
高学年女子	黒岩 優空さん	1.82ｋｍ	７分５４秒

●ピッタリ駅伝の部

チーム名	距離	誤差
香美市役所駅伝部	4.77km（5区間）	－36秒

●リレーマラソンの部

チーム名	距離	タイム
モニョニョケ漢	11.3ｋｍ(3～5人)	４２分１３秒

３月５日、香北青少年の家周辺でマラソン・駅伝大会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響により３年ぶりの開催となった今大会では、ちびっこマラソンの部に７５人、ピッタリ駅伝の部に９チーム、リレーマラソンの部に１１チームの参加があり、熱いレースが繰り広げられました。

各部１位の成績は左のとおりです。

令和５年春季全国火災予防運動 第二土佐山田幼稚園和太鼓演奏

令和５年春季全国火災予防運動期間中の３月１日に、香美市消防署で香美市幼年消防クラブ員である第二土佐山田幼稚園の園児達が、和太鼓を披露して火災予防を呼びかけました。

子ども達は元気いっぱいに力強い演奏をし、集まった観客からは温かい拍手が送られました。

香美市ナイターペタンクリーグ開催！

２月２７日から３月２３日にかけて、香北総合型競技施設で、第１６回香美市ナイターペタンクリーグが開催されました。

今回は８チームが参加、試合はダブルス（２人一組）で行われ、ムゲットというチームが優勝しました。

【大会結果】

優勝	ムゲット	準優勝	土佐山田Ａ
第３位	チェリー	敢闘賞	ポケット

香美市文芸 風の流れ

【短歌】 岡崎 桜雲 選

◆一般投稿作品◆

さらさらと清水のごとく川干あけ川藻は生きて水になびきぬ　伊藤 清子

合掌の如く合歓の木葉を閉じる集落の窓ホツホツ灯り　森本 幸美

曽孫は四人目にして男の子たりと夫に告げなむ鉦しじに打つ　大岸由起子

里桜咲いて私を見定める幼い日から古希を過ぎても　原 茂

うぶすなに咲いた大輪のさざんかの花見事です見に来て下さい　岡本 初美

義姉さんと六十年余呼び来しも菜の花盛り長き別れに　小松 敏子

なしとげた女性二人でしづえ切り元の川幅甦りくる　五百蔵利美

夢紡ぐ一日ごとの想い出ははるかかなたに風の向こうに　高田 清子

幾億の時をかけぬけ届きたり水張り田にぞ星は瞬く　山﨑 貴子

常緑の草のはざまに若草は伸びはじめたり日だまりの中　小原 子川

車止め木々の間に覗く鴨エンジン音にいっきに飛び立つ　なずな

赤羽織定年迎え身につけていざ生きゆかん父超ゆるまで　中西 和人

天空の一面黄色菜の花のそれより高き青空の青　山中 逸朗

過ぎゆける春をしのびて佇めばふきのとうのかそか青める　公文 千恵

しっかりと自分の言葉で主張する中学生の頬のかがやき　吉本 悦子

予定書き黒くなりたる暦見て動かされおりこれも息災　大石 綏子

ねこ柳茶花の一枝を入れむとて浅瀬わたりぬころばぬやうに　小松 禮子

小一に空手を許すママ賢明元気と礼儀の育ちを想ふ　武内 弘子

介護保険制度大切と上野千鶴子ケアは「脱家族化」と批判はあれど　竹村 咲子

書を書きて短歌を詠みてフラ踊り好きなことして老いを生きゆく　門田 明子

水が涸れダム湖の底に現れぬ昔のままの田畑石垣　松中 賀代

涎掛けかけ替へもらひし小地蔵さん萌え木の下にニコニコ御座す　公文 正子

◆高知アララギ短歌会◆

憂き日には子らそれぞれに良き伴侶得られたる幸思ひてゐたり　古川 安子

磯に競ひ飛び散る波らたのしむか光に映える時の間なりき　小松もとみ

ほんきとも冗談ともつかぬもの言ひに君は言ふなりいのちのことを　佐竹 玲子

思い出はすべて懐かしひとり居の年重ね来て今の幸福　古谷 由美

プカプカと柚子の大玉湯にあそぶ爪をたてれば尚香りたつ　佐々木真里

杉山を風雨となりて転がるをわが里人は「竿かたぎ」と言いし　小松 信子

寝正月の父の耳元に声かける「九十七歳おめでとう」と　岩井美知子

鍬おいて休める畦にえん麦のみどりかすめる風心地よし　中村 定子

カジの木の皮剥ぐ作業に訪れぬ我は忘れじ風船爆弾　宮地 亀好

◆「涛光」グループ◆

今日も又いつもと同じことできるかけがえのない日常が過ぐ　小松 美鶴

この頃はお腹一杯食べられる幸せ感じる片付けながら　吉川 恵樹

ささやなか我家の庭のウッドアーチ無慚に倒され憎むは台風　刈谷美代子

渓流沿い危険地帯の調査終え息子は山蛭四匹連れて帰りぬ　秋 星

みかん苗小さな枝に八個の実熟す楽しみ期待して買う　野村 典子

吾も人も寄る年波に勝てぬなら夢にかけやう波の来ぬまに　野島 富石

民宿で思いもかけぬ五目ずし父の日祝う女将の配慮　溝渕 龍泉

それぞれが持ち場に着いて籾をする家族総出の年中行事　中村 佐代

重みある樹形となりし泰山木庭に根付きて四十余年　尾立ひとみ

付添の待合室は静かなり窓より見えしよさこい華やか　井上 有子

継続は力なりとて頑張れど書の道いまだ上達を見ず　原 恭子

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月１日までに、ご応募ください。

【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係

〒782－8501（住所記載不要）　53－5958

４月号　Ｐ２１『第２０回吉井勇顕彰短歌大会【受賞作品　小学生の部】』佳作受賞者の氏名に誤りがありました。
１句目「山田県光井小学校五年　横道　玄」→「高知県山田小学校五年　長吉　悠晃」
２句目「高知県片地小学校五年　寺田　涼介」→「高知県山田小学校五年　小松　芽生」お詫びして訂正いたします。